

平成 30 年度 第 1 回

JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：平 30 年 6 月 5 日（月）14：00～15：00

場 所：JCHO 東京蒲田医療センター 健康管理棟 2 階大会議室

出席者：西田委員（大田区保健所所長）

宮島委員（蒲田医師会監事）

神成委員（特別養護老人ホーム大田翔裕園施設長）

薄井委員（岩井機械工業株式会社専務取締役）

田中委員（南蒲田二丁目町内会町会長）

東京蒲田医療センター：石井委員、小名木委員、本田委員、濱岸委員

菅原委員、鈴木委員

司 会：東京蒲田医療センター院長 石井耕司

【議事内容】

（院長）

本日は、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。平成 30 年度第 1 回地域協議会を始めたいと思います。JCHO 東京蒲田医療センターになりまして 5 年目となります。徐々にではありますが院内改善してきていると信じています。本日はよろしくお願いたします。

（菅原委員）

それでは、委員の紹介をさせていただきます。

各委員の紹介が行われた。

新任の委員の挨拶が行われた。

（菅原委員）

資料に基づき下記事項について説明を行った。

①地域協議会の目的

②事業概要（平成 29 年度 業績報告）

1 日平均入院患者数・平均在院日数・手術件数・1 日平均外来患者数・紹介率

・逆紹介率・救急搬送患者数・健康管理センター受診者件数・訪問看護について

③平成 29 年度患者満足度調査結果について

（鈴木委員）

資料に基づき下記事項について説明を行った。

- ①地域との交流の報告（平成 29 年度地域医療連携セミナー、区民公開講座）
- ②平成 30 年度地域医療連携セミナー、区民公開講座の予定

（菅原委員）

次に、当院の地域における医療機関との連携にかかる取り組みの一つとして感染防止対策について紹介させていただきます。

（林感染管理認定看護師）

資料に基づき下記事項について説明を行った。

- ①感染防止対策加算における連携
- ②大田区入院医療協議会・院内感染対策専門部会
- ③地域包括的なネットワーク
- ④地域で活用できる人材

（菅原委員）

当院からのご報告等は以上です。ご意見など頂ければと思います。

（宮島委員）

東京蒲田医療センターからの紹介状を持って受診された患者さんに「どうしてここに来たんですか」と尋ねると「ここで診る症状じゃないですね」と言われたというケースが 2～3 件ありました。患者さんに、「ここに行きなさい」と指示をするときの言葉の使い方が良くないケースがあったので、もう少しマイルドに誘導していただければと思います。紹介状を渡すときの理由について気を使って説明してほしいと思います。

（院長）

誠に申し訳ありません。今年度に入ってからもありましたでしょうか？去年までですと、説明不足の医師がおり注意をしておりましたがご迷惑をおかけしました。今年度は医師のメンバーも変わり、接遇に関しては改善してきていると思っておりましたが申し訳ありませんでした。今後も引き続き十分注意するようにしてまいります。

（宮島委員）

当クリニックから紹介することもあり、入院される患者は近いので時々見に来たりしています。病棟は白い廊下になり、以前より明るく感じ良くなったと思います。

(菅原委員)

ありがとうございます。ソフト面に関しても改善してまいります。

(西田委員)

大田区の特徴として入院医療協議会があってその下に専門部会が6つあり感染症部会もその一つです。また、災害医療は大田区は熱心に行っていますし、病院と病院の連携など密に行っているところが良いところだと思っています。たとえば他の施設の訪問看護師が褥瘡の治りが悪い患者についての相談を東京蒲田医療センターの認定看護師に行ってもよいでしょうか。相談窓口とか受付時間とかありますでしょうか。相談の内容によっては訪問もしていただけるのでしょうか。

(林委員)

感染に限っては私に直接でもかまいません。他の認定看護師は地域連携室を窓口にしていただければと思います。診療報酬とは別に、相談の内容によっては要望があれば訪問も行っていきたいと思っています。

(西田委員)

協力関係ができれば心強いかと思しますので、是非行ってほしいです。

(院長)

大田区には訪問看護と訪問診療を行う民間の事業所がいくつもありますので、民業を圧迫しないよう当院は訪問診療、訪問看護を控えてきました。西田委員からご提案がありましたので訪問診療、訪問看護の方々が困った時には、後方病院としての役割を積極的に果たし、さらに地域との連携を深めてまいります。

(菅原委員)

災害訓練については何かありますでしょうか。

(西田委員)

今年度は訓練を行っていない病院を優先して行きたいと思っています。大田区は町内会との連携も良いので助かります。

災害時患者さんの搬送が一番の問題だったのですが、大田区では新たに折りたたみ式の担架を作りました。物作りの大田区なのでブレーキのきく軽い担架が作られて配られております。何かの機会に見ていただければと思います。

(田中委員)

6月3日に町内会の防災訓練を行いました。この病院の広場を使わせていただきました。ありがとうございました。その時に今回大田区で出された担架も使ってみましたが、まだ不慣れであったせいもありますが、取り扱いにくいところもありましたので、工夫していただければと思います。その節はありがとうございました。

(西田委員)

わかりました。担当者にこのようなご意見があったことを伝えておきます。

(西田委員)

患者満足度で入院の食事の配膳下膳の項目の点数が上がっていますが、何か改善を行ったのでしょうか。また、食事時間は何時でしょうか。

(鈴木委員)

食事時間は朝食は7:30 昼食は12:00 夕食は18:00 となっています。
配膳時間は以前と特に変わりありません。下膳は看護師又は療養介助員が行いますが、食事にかかる時間が患者様それぞれ異なるので下膳のタイミングについて患者様毎に配慮するよう心がけています。

(西田委員)

このように良い結果につながるよう、今後とも患者サービスの改善についてよろしくお祈いします。

(菅原委員)

他にご意見等はございますでしょうか。

(院長)

これからも少しずつですが、当院が地域にとって、患者様にとって良い方向に向かうように改善してまいります。
又、地域包括ケアの要となる病院を目指すのはもちろんですが、専門性のある医師も集まって来ていますので専門を活かした部門でも頑張っていきたいと思っております。本日はお忙しい中おいでいただきありがとうございました。今後ともよろしくお祈いいたします。

以上にて閉会となる。